



第12回 ER主催臨床セミナー

第1部 変わらない救急処置を変える 3

尿管結石・腹膜炎・肝臓破裂等での主治医での初期治療

第2部 動物救急センターで引き受けている整形外科

第3部 ER八王子設立準備のご説明会と就職説明会

日時 | 2018年10月7日(日) 10:30~14:00 (10:15 受付開始)

会場 | **fabbit 八王子 042-649-3365**
八王子市明神町3-20-5 エイトビル3F
JR八王子駅徒歩3分 京王八王子駅1分



参加費 | **無料**

申込方法 | **参加申込書をFAXしてください。**

【当日の予定】

10:30~12:00 第1部 変わらない救急処置を変える3

ER練馬 センター長 西尾 里志

「**変わらない救急処置を変える**」と題して、第1回はジアゼパムの多用を改め、現場に沿った治療に変えていくべきでないかとお話をいたしました。続いて、第2回は3時間程度の短い時間でも十分に効果を期待できる積極的人工呼吸管理の重要性について、使用薬剤の調整、静脈血液ガス分析の導入、症例ごとの考え方を中心にお話をしました。特に「**肺水腫・酸素テントに入れていてラシックスで改善せず数時間で死亡**」「**ホームドクターで2時間痙攣が止まらなかったのにER来院後、数分で痙攣が止まる**」など、具体的な多数の治療症例に基づきセミナーをさせていただきました。

今回、第3回として**主治医での外科処置として特に緊急性の高い、BUN>200 CRE>20 K>7という急性腎不全を引き起こす尿管結石への緊急外科**、また、**WBC<1000ともなる重篤な敗血症を伴う子宮蓄膿症や腸内異物への緊急外科**、**肝臓破裂・脾臓破裂か判断できず検査手術時の肝臓からの大量出血時の緊急外科**、についてERでの実際の症例とその救命結果に基づく救命外科処置として、「**まず主治医でできること**」をお話します。ERは、「**救急センター症例の症例治療例を一般外科にしていくこと**」を常にテーマに掲げています。

12:10~13:10 第2部 動物救急センターで引き受けている整形外科

ER府中 副センター長 大坂 文也

動物救急センターにおいて日々引き受けている整形外科について、ER府中副センター長の大坂より症例報告をいたします。大坂は、第3部でお話をする来年開設予定の新施設に移籍し整形外科を含む外科全般を担当する他、是枝先生の人工股関節全置換術(THR)の窓口となります。

整形外科は新施設においても、ER府中同様に橈骨尺骨骨折の外科からTHRまで、幅広く対応する予定です。

13:20~14:30 第3部 動物救急センター八王子【ER八王子】(仮称) 開設準備についてご説明

2013年4月のER練馬開院以来、協力病院の先生方からの信頼を得られて今があります。このたび、2015年のER文京・2017年のER府中に続き、**来年夏を目標に八王子エリアにて新施設の開設準備**に入ることになりました。今回ご案内を作成している時点では場所が確定しておりませんが、**既存3施設と同様に24時間救急センター体制とし、更にERとして初となる新設備等も導入を検討しています**。即日引き受け、救命外科・脳外科、緊急MRI、輸血ストック、24時間付添い看護、また、股関節全置換術・TPLO等高度整形外科センターについても、これまで以上の利便性のある施設を目指して、地域開業獣医師の皆様に向けて、当院の受け入れ体制から治療費などについてまでお話をさせていただきます。

また同時に、今回の事業内容の説明会は、大学院生等の就職説明会内容も含まれます。